

【議事録】		作成
令和6年度 第3回 こども部会		松永
日時	令和6年10月22日（火）10:00-	
場所	広陵町総合保健福祉会館（さわやかホール）	
出席者	江口・家村（葛城こ若）、渡邊（葛城市）、粕谷（高田社協）、佐藤・小野・柏（しえ～く） 秋本（ふわら）、坂口・撫養（ひまわり学園）、辻（高田市）、谷本（葛城育成会） 玉井（香芝東中）、河内・西崎（どんぐり）、川股（香芝市）、林・小細（愛の集い）、 鈴木・山藤・本田・大倉・古田・岸本・松永（広陵町）	*順不同・敬称略*
次第	内容	
会長あいさつ	第2回こども部会の次第について説明。 西和医療センター 小児科 田口先生のご紹介。	
研修	<p>『神経発達症の当事者が困っていること ～これまでの傷つきとこれからのリスク～』</p> <p>*神経発達症診療の段取り</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆得られた情報から→特性を理解する→診断と特性を周囲に説明する→環境調整を行う→特性に基づいた関わりによって発達を促す→☆ときには薬物を用い症状の緩和を目指す ☆印は医者のみできること。支援者には☆以外の働きが求められる。 <p>*グループワーク 事例検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ある事例について各グループで検討し、どのような支援ができるか6つの班に分かれ発表。しかし、実際は各班同じ資料ではなく、3班ずつ2種類の異なる資料（トラウマ体験の記載有無）を配布しており、トラウマ体験の背景を知っているか知っていないかで対応が大きく異なることが明白となった。適切なアセスメントには丁寧な情報収集が重要である。 <p>*神経発達症児との関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達特性・発達段階での知識を持ったうえで、自身が知っている情報だけで評価するのではなく、他の現場・過去にあった出来事の情報を集め、総合的に評価し、支援にあたる。 多くの記録（文字情報）はあくまで周囲が困っていることである。注目すべきは「本人が困っていること」である。本人の「困り感」を知ることで、過去の傷つきを想像し、これからのリスクを避けることにつながる。 ・トラウマと愛着障害の知識を持つ。トラウマに理解があると安心感を提供しやすくなる。愛着に理解があると、関係性を客観視できる。 <p>*自閉スペクトラム症について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①社会性・コミュニケーションの障害②こだわりの強さといった特性がある。自身のこだわり等を満たす「安全基地」が最も心地よく、「安全基地」を乱されるとパニックになる。 ・感覚過敏・鈍麻がある児童が多い。問題行動の背景には感覚の特殊性が隠れていることがあるが、他者には認識しづらく、疑わないと確認できない。 ・関わり方の工夫として、視覚認知を重視した関わりを持ち、指示は具体的にゆっくりと伝え、急展開を避ける。他者に迷惑がかからないこだわりは否定せず、頑張って譲ってくれたことに対しても最大限に労う。対人関係が苦手ではあるが、傷ついていない訳ではないと知っておく。 <p>*注意欠如多動症について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①不注意②多動・衝動性といった特性があり、実行機能の障害、ワーキングメモリの低下、衝動抑制の難しさが生じる。 ・関わり方の工夫として、叱るだけでは無く正しい行動を伝え、普通の行動は褒める。目標はスマールステップで1つずつ練習し、確認や見直しの習慣を考える。集中しやすい環境や課題の与え方を考え、段取りは必ず短いスパンでつくる。自分の行動に悩んでいない訳ではない。 	

*トラウマ、愛着障害

- ・被虐児の多くが神経発達症と診断されるが、トラウマが中核にある場合治療には反応がなく、安全確保、安心感の提供といった「環境調整」が必要となる。養育者のトラウマ経験がないかの把握も必要であるが、詳しく聞き出すことは避ける。嫌な体験をしたときの感覚が突然再現される「フラッシュバック」は些細な引き金で引き出される。乖離や健忘を伴うことがある。
- ・愛着障害は「反応性愛着障害：他者に対して過度に警戒する」「脱抑制型愛着障害：誰に対しても過度になれなれしい」の2種類があり、いずれも5歳までに発症するとされる。養育者が「安全基地」になり得るよう、必要であれば養育者支援も行う。

*支援者が健全であるために

- ・支援とは家庭やこども、仲間との共同作業である。一人で抱え込みず、押しつけや命令は避ける。解決を急がず、ゆっくりと向き合うようにする。

会長あいさつ

- ・次回開催日時の案内

次回

R6年12月18日(水) 10:00- さわやかホール